

令和3年度 豊岡市社会福祉協議会介護職員初任者研修（通学）授業計画

科(科目)名	内 容	実施計画	講師
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス ・介護保険外サービスの理解 ・インフォーマルサービスの理解 	郷田真佐美
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅・施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容の理解 ・サービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ、他職種及び介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携 	郷田真佐美
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権の保障（個人としての尊重、アドボカシー、エンパワメントの視点、尊厳のある暮らし、利用者のプライバシー保護） ・ICFについて ・QOLの考え方、ノーマライゼーションの考え方 ・身体拘束の禁止、高齢者虐待防止と養護者支援 ・個人情報保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業 	郷田真佐美
	②自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援（残存能力の活用・意欲を高める支援・個別ケア・重度化防止） ・介護予防の考え方（廃用症候群・生活習慣病） 	郷田真佐美
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護と施設介護サービスの違い、地域包括ケア ・介護の専門性（利用者主体の支援姿勢、利用者の生活意欲と潜在能力の活用、自立した生活を支えるための援助、重度化防止・遅延化の視点、チームケアの重要性、根拠のある介護） ・専門性の異なる多職種の理解、効果的なサービス提供 	郷田真佐美
	②介護職の職業倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の倫理・介護専門職の倫理と介護職と社会的責任 ・プライバシーの尊重と保護 	郷田真佐美
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク回避と尊厳の保持、リスクマネジメント（事故の分析と対応の技術） ・事故報告、事故の予防、情報共有 ・感染症対策（知識と対応） 	郷田真佐美
	④介護職の安全	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員の心身の健康管理（ストレスマネジメント・腰痛予防・感染予防） 	郷田真佐美
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	①介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の目的、動向（ケアマネジメント、予防重視型システムへの転換、地域包括支援センター・地域包括ケアシステム） ・介護保険制度の仕組み、介護給付・予防給付・要介護認定の手順 ・制度を支える財源、組織・団体の機能と役割 	郷田真佐美

	②医療との連携とリハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・医行為と介護、施設における看護・介護の連携、リハビリテーションの理念 ・訪問看護 	郷田真佐美
	③障害者福祉制度およびその他制度	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉の理念、ICFについて ・障害者福祉制度のしくみの基礎的理解 ・個人情報保護法・成年後見制度・日常生活自立支援事業 	郷田真佐美
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・傾聴・共感 ・言語・非言語コミュニケーション ・利用者・家族の心理的理解 ・信頼関係の形成 ・ニーズとデマンドの違い ・利用者の状態に応じたコミュニケーション技術 	郷田真佐美
	②介護におけるチームのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の意義、目的、種類、書き方（個別援助計画書、ヒヤリハット） ・報告、連絡、相談の留意点 ・情報共有と役割（会議、カンファレンス） 	郷田真佐美
(6)老化の理解 (6時間)	①老化に伴うこころとからだの変化と日常	<ul style="list-style-type: none"> ・老年期の発達と老化（防衛反応の変化・喪失体験） ・身体的機能の変化と日常生活への影響 ・精神的機能の変化と日常生活への影響 	郷田真佐美
	②高齢者と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折・筋力低下・関節痛 ・高齢者に多い病気（循環器疾患・鬱症状・誤嚥性肺炎） ・症状の変化に気づく視点 	郷田真佐美
(7)認知症の理解 (6時間)	①認知症を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの理念（パーソンセンタードケア） ・認知症ケアの視点 	郷田真佐美
	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の定義と診断 ・原因疾患と治療 ・健康管理、早期発見と予防 	郷田真佐美
	③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・中核症状 ・行動・心理症状（BPSD） ・認知症の人への対応（バリデーション） ・不適切なケア 	郷田真佐美
	④家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・受容過程での援助 ・介護負担の軽減（レスパイトケア） 	郷田真佐美
(8)障害の理解 (3時間)	①障害の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の概念とICF ・障害者福祉の基本理念（ノーマライゼーション） 	郷田真佐美

	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害（視覚・聴覚・平衡感覚・音声・言語・咀嚼・肢体不自由・内部障害） ・知的障害 ・精神障害（高次脳機能障害・発達障害など） 	郷田真佐美
	③家族の心理、かかわり支援の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の理解・障害の受容支援 ・介護負担の軽減 	郷田真佐美
(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術 (77時間)	【ア 基本知識の学習（11時間）】		
	①介護の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理に基づく介護 ・法的根拠に基づく介護 	郷田真佐美
	②介護に関することごとからだのしくみの基礎的理	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶の基礎知識・感情と意欲の基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障害受容の適応行動と阻害要因 ・ことごとからだの相互作用 	郷田真佐美
	③介護に関することごとからだのしくみの基礎的理	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨・関節・筋に関する基礎知識 ・中枢神経と体性神経、自律神経と内部器官の基礎知識 ・利用者の様子の変化に気づく視点 	郷田真佐美
	【イ 生活支援技術の講義・演習（54時間）】		
	④生活と家事	<ul style="list-style-type: none"> ・生活と家事の理解（生活歴、自立支援、多様な生活習慣、価値観、介護予防の視点） ・家事援助に関する基礎知識と生活支援 	郷田真佐美
	⑤快適な居住環境整備と介護	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で健康的な居住環境（照明・色・騒音、家庭内に多い事故） ・居住環境の整備と福祉用具の活用（バリアフリー・住宅改修・福祉用具貸与） 	郷田真佐美
	⑥整容に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・整容に関する基礎知識（身じたく、衣服の選択、着脱、整容行動の意義・効果） ・整容の支援技術（洗面・整髪・衣服の着脱） ・ベッド上での衣服着脱、洗面・整髪の支援技術の演習を行う。 	郷田真佐美
⑦移動・移乗に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗に関する基礎知識 ・移動・移乗介助に関する福祉用具と活用方法 ・利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗 ・移動・移乗を阻害する要因の理解と支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援（残存能力の活用、自立支援、ボディメカニクス、褥瘡予防、骨折、バリアフリー） ・ベッドから車いすへの移乗介助、車いすによる移動介助、麻痺がある人を想定した歩行介助等の演習を行う。 	郷田真佐美	

	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・食事にに関する基礎知識 ・食事環境整備と用具の活用方法 ・食事と社会参加の留意点と支援（食事する意味、食事のケアに対する介護者の意識、低栄養、脱水、姿勢、咀嚼と嚥下のメカニズム、満腹感・空腹感、好み、環境整備、福祉用具、口腔ケア、誤嚥性肺炎の予防） ・ベッド上や麻痺がある人を想定した食事介助の演習を行う。 	郷田真佐美
	⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・清潔に関する基礎知識 ・用具と活用方法 ・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法（羞恥心、遠慮への配慮、体調の確認、清拭、陰部洗浄、足浴・手浴・洗髪、目・鼻腔・耳・爪の清潔方法） ・ベッド上での洗髪、組立浴槽を活用した入浴介助等の演習を行う。 	郷田真佐美
	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 ・排泄環境の整備と用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法（身体面・心理面・社会的意味、羞恥心、プライバシーの確保、おむつ使用の弊害、排泄障害が日常生活に及ぼす影響、一部介助の具体的方法、便秘予防） ・ベット上、トイレ、ポータブルトイレを活用した排泄介助の演習を行う。 	郷田真佐美
	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境の整備と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法（睡眠の質、安楽な姿勢、室温・湿度・光・音、褥瘡予防） 	郷田真佐美
	⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識 ・生から死への過程と「死」に向き合うところの理解 ・多職種間の情報共有の必要性 ・苦痛の少ない死への支援 	郷田真佐美
	【ウ 生活支援技術演習（12時間）】		
	⑬介護過程の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の目的・意義・展開 ・介護過程とチームアプローチ 	郷田真佐美
	⑭総合生活支援技術演習	<ul style="list-style-type: none"> ・事例の提示→ところとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の習得と課題 	郷田真佐美
(10)振り返り	①振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して学んだこと ・今後継続して学ぶこと 	郷田真佐美

(4時間)		<ul style="list-style-type: none"> ・根拠に基づく介護についての要点 	
	<p>② 就業への備えと研修 修了後における継続的な研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に学ぶべきこと ・研修終了後における継続的な研修（事業所等の 実例：O J T / O F F - J T を紹介） 	郷田真佐美